

学会費減免措置 (学生会員対象) に関する アンケートの結果

 日本社会福祉学会第69回秋季大会

2021年9月12日 国際学術交流促進委員会

分析・報告者 黒田 文 (東北福祉大学)

目的

本学会の学生会員を対象に行った学会費減免の効用及びコロナ感染パンデミックにより、学生学会員が、学習・研究活動面で、どのような／どの程度の影響を受けたかを捉え、本学会で対応できるニーズがあるかを把握する

対象

2020年度学会費減免措置が適用された学生会員110名

方法

本委員会委員が作成した11項目へのアンケートをメールで依頼し、グーグルフォームを用いて回答

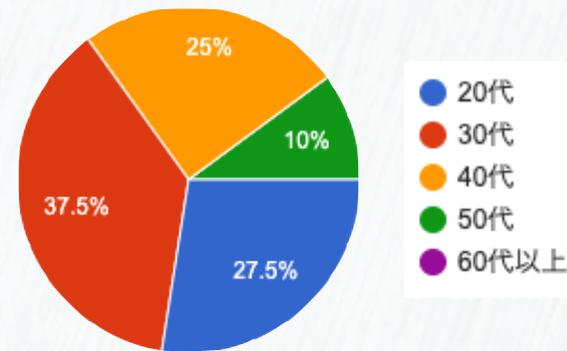
実施期間

2021年2月4日～2月18日

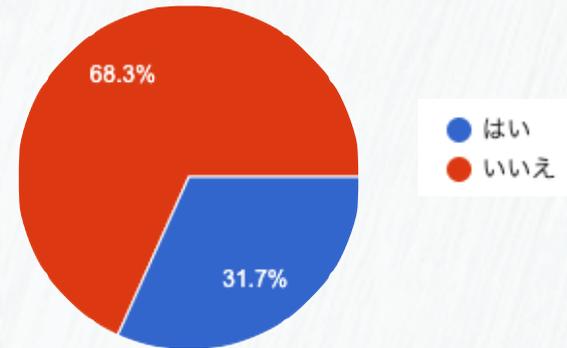
有効回答

41件（回答率 37.3%）

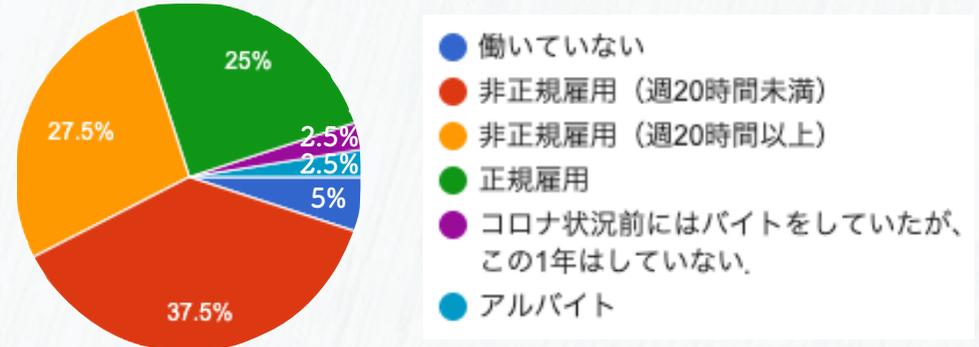
年齢について教えてください



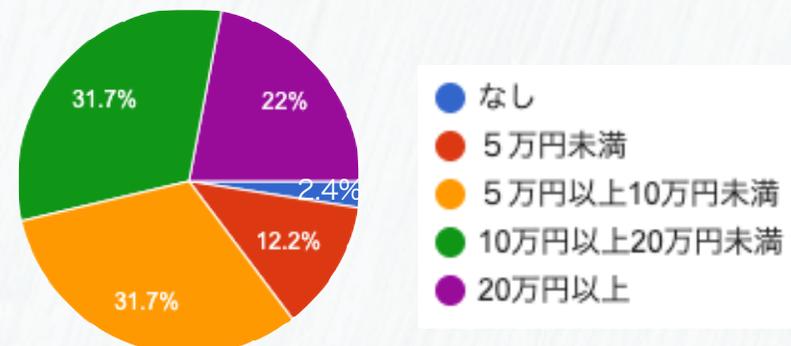
留学生ですか



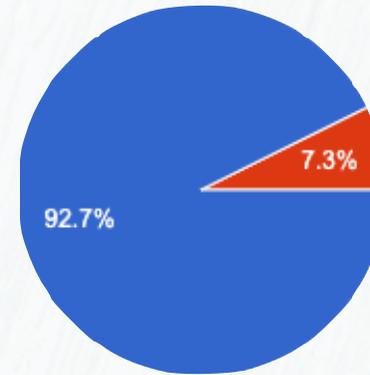
勤務形態について教えてください



手取りの平均月収 (奨学金、仕送り等を含む) を教えてください

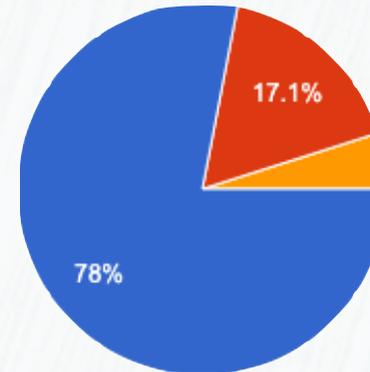


2020年度の本学会の会費減免は役に立ちましたか



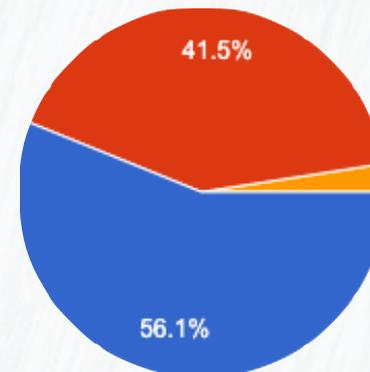
- 非常に役立った
- ある程度役立った
- あまり役立たなかった
- 役立たなかった

本学会が2021年度も会費減免を継続することを希望しますか



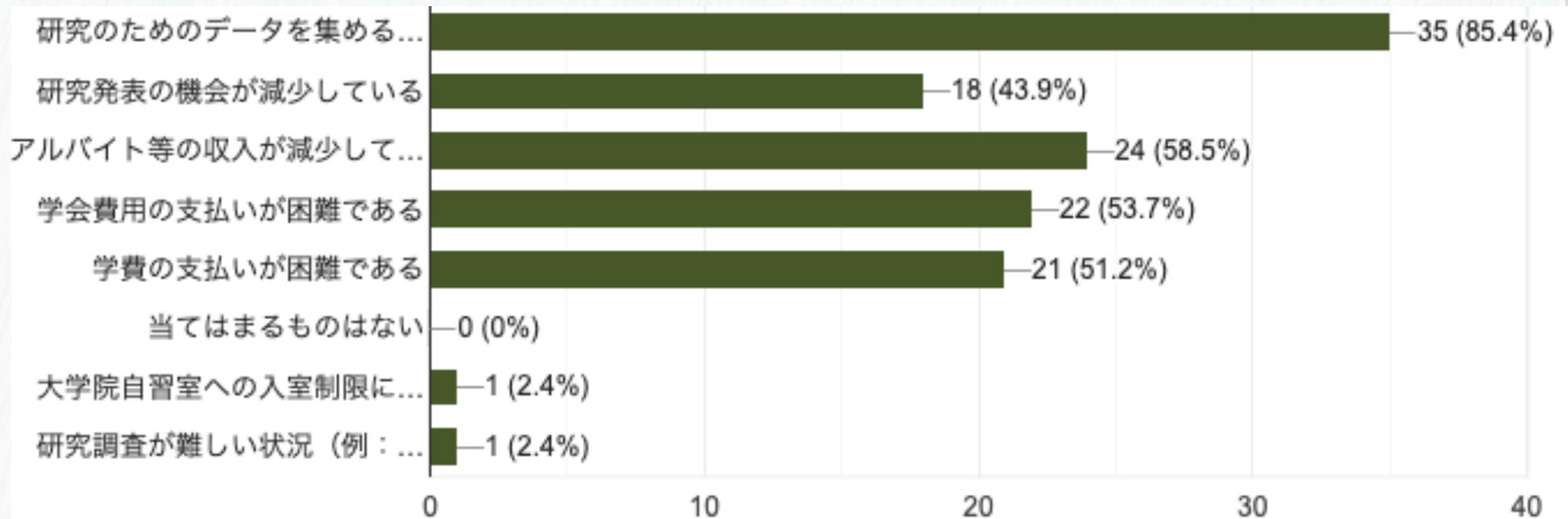
- 強く希望する
- できれば希望する
- 希望しない

学習・研究生活について全体的にみて、どの程度の制約を受けましたか



- 全体的にみて、非常に制約をうけた
- 全体的にみて、ある程度制約をうけた
- 全体的にみて、少し制約をうけた
- 全体的にみて、ほとんど制約をうけなかった
- 全体的にみて、全く制約をうけなかった

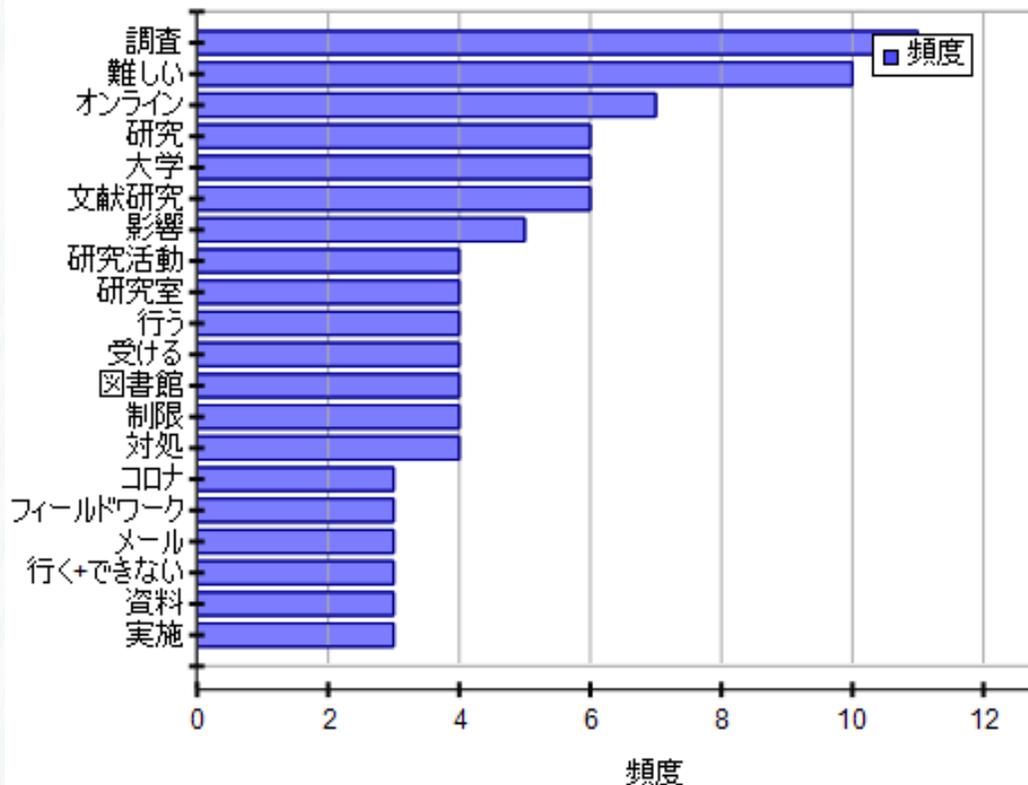
COVID-19の影響で現在の学習・研究生活に生じている具体的な状況として当てはまるものを教えてください（複数回答可）



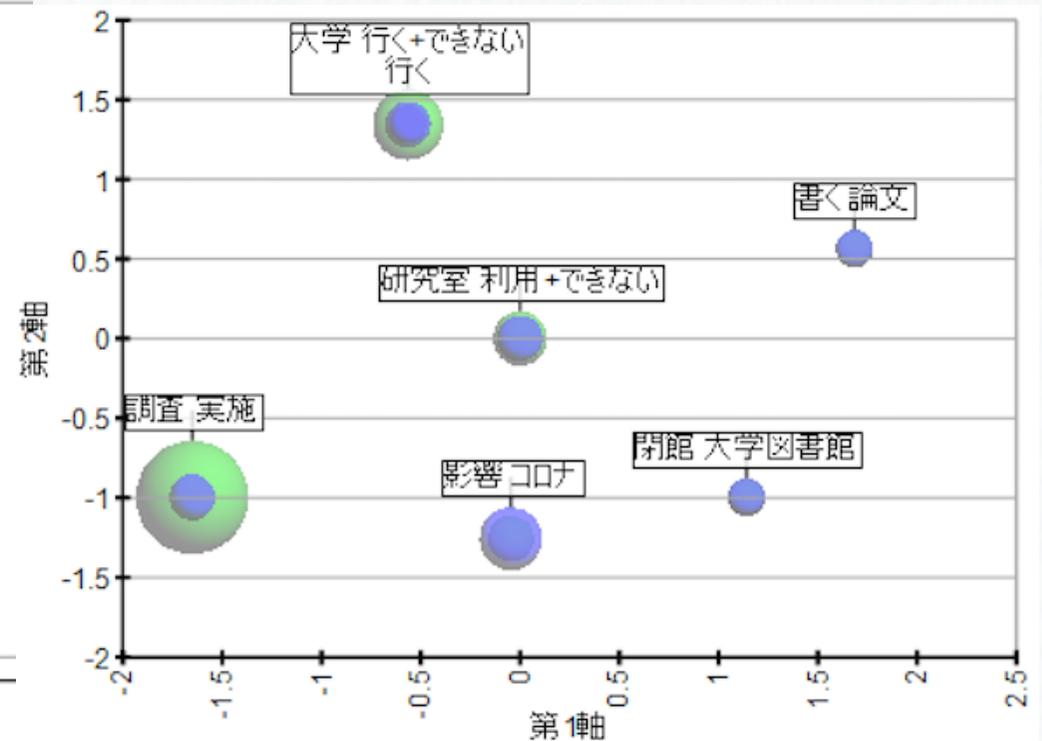
自由記述に関する結果

TextMiningStudioを使用

COVID-19によるあなたの学習・研究生活に関する具体的な影響の内容、ならびに、それらにどのように対処しているか等を教えてください。

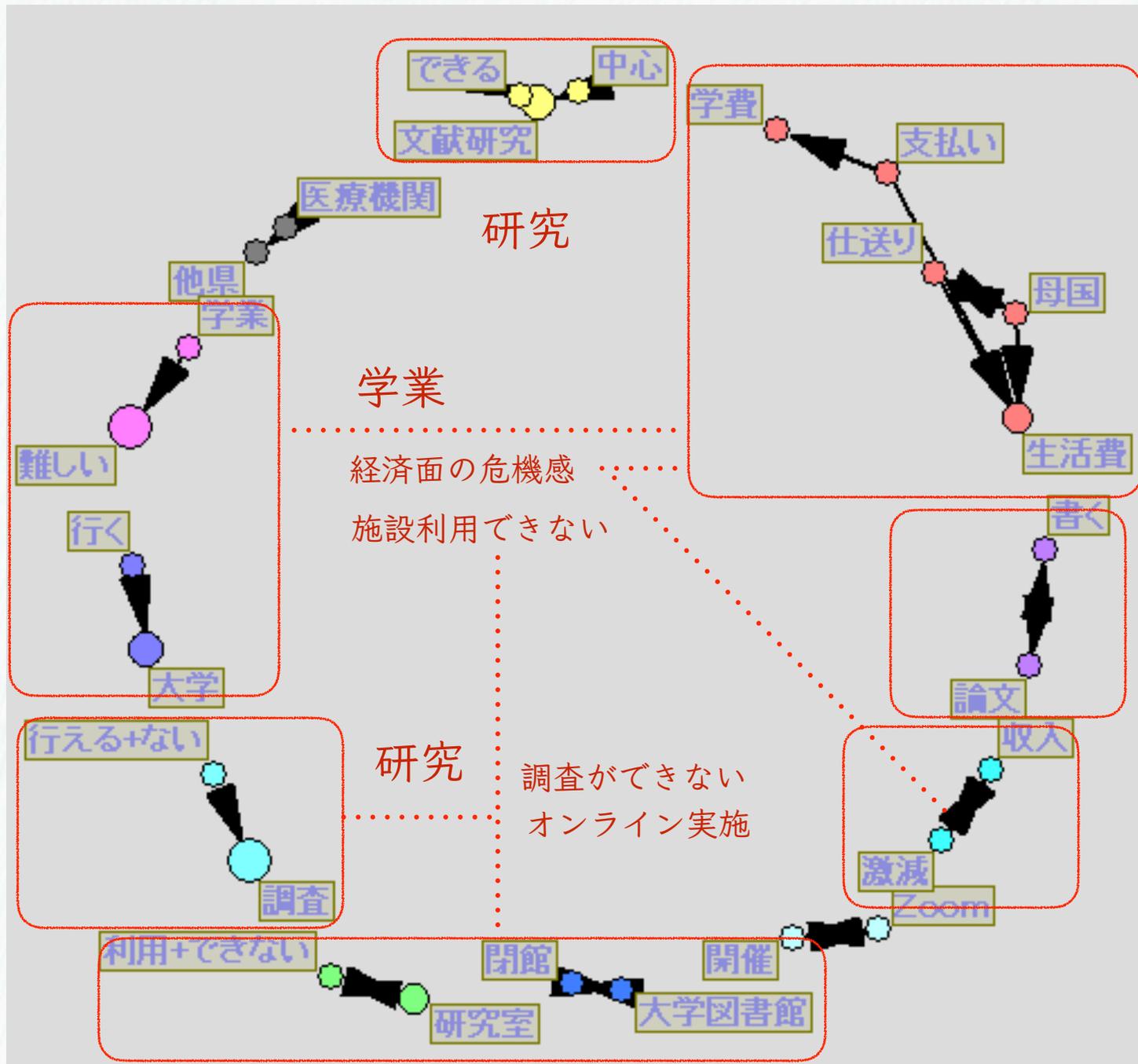


用いられた言葉の頻度解析



多用された言葉の布置

ことばネットワーク (全体)



学会に期待する支援

【経済支援】 年間の学会費減免、学会大会費減免、学費軽減措置、研究資金助成

- ◆費用減免やコロナ禍の研究方法についての情報発信
- ◆課程博士の在籍期間が、休学をはさんでも最長6年とのことだが、在籍期間延長を学会として文科省に要請してほしい。論文博士になると、審査基準も大きく変わり、審査費用等の負担も大きい
- ◆コロナの為に余計にかかる費用が発生しているため、学会費の免除の措置の継続
- ◆外国人留学生の発表の場と機会を増やす
- ◆学会費の免除を継続
- ◆小口の研究資金の助成がいただけるとありがたい
- ◆経済的な支援。アルバイト作業が伴っても構わない
- ◆学生対象の無利子の貸付
- ◆奨学金の増設

【研究方法・情報に関する支援】

- ◆インタビュー調査が可能な団体や個人の紹介などがあると助かる
- ◆研修、情報発信などを積極的にお願いしたい
- ◆若手研究者の研究能力を高めるために、定期的に若手研究者向けの勉強会を開催することを期待
- ◆研究成果を発表できる機会の増加
- ◆zoomなどでインタビューができるように支援して欲しい

ワークショップで取り上げてほしいテーマ

- 大学図書館の入校制限など場所の制約や資料の集めづらさに対する対応やインタビュー、フィールドワークの実施方法
 - コロナ禍でどのように調査研究を行ったかについて・参与観察等の質的研究をどのように行っているか
 - 人との対面・接触が制限される中で、インタビュー調査やフィールドワーク等をどう実施しているか
 - 介護現場へのアンケート調査やインタビュー調査が難しくなっているので、その対処方法
 - 医療分野に関わる研究において、どのように研究者として現場に入り込むか
 - 研究進行がしにくい状況なかでどのように院生を指導しているのか、院生がどのようにして自分なりの研究をすすめていくことができるのか、既存状況の中でどのように福祉研究を進めていくのか
 - 日本以外のアジア各国の社会福祉研究と対策など（中国とか）
 - 今まで経験していない新研究方法（Zoomの利用など）
 - 他の研究者の学習・研究生活に関する影響と対処方法
-
- コロナの影響による利用者への現場の対応及び利用者の人権について
 - 他の国の取り組みについて聞いてみたい
 - COVID-19の封じ込めに成功している国（台湾、ニュージーランド等）における研究・教育の現況とその成功要因
 - 同調圧力、価値に関すること、ソーシャルインクルージョン
 - 疫病流行における過去の対処について
 - コロナ禍における意思決定支援とソーシャルワークについて
 - 貧困状況と会社の経営と従業員の年収変化
 - 各国福祉施設の感染予防対策や具体例等
 - 日本内外問わず、施設等の現場における研究状況を知りたい。
 - コロナ禍中に、新たに浮上してきた福祉課題

アンケートの項目

- 【1】 2020年度の本学会の会費減免は役に立ちましたか。
- 【2】 本学会が2021年度も会費減免を継続することを希望しますか。
- 【3-1】 COVID-19の影響で、あなたご自身の現在の学習・研究生活に生じている具体的な状況として当てはまるものを教えて下さい（複数回答可）
- 【3-2】 あなたの学習・研究生活について、全体的にみて、どの程度の制約を受けましたか
- 【4】 あなたの年齢について教えて下さい。
- 【5】 あなたの勤務形態について教えて下さい。
- 【6】 あなたの手取りの平均月収（奨学金、仕送り等を含む）について教えて下さい。
- 【7】 あなたは留学生ですか。
- 【8-1】 COVID-19によるあなたの学習・研究生活に関する具体的な影響の内容、ならびに、それらにどのように対処しているか等を教えて下さい。
- 【8-2】 大会で開催するワークショップ等で、仮に「コロナ禍における国際社会福祉研究・教育活動」の話題になった場合、具体的に取り上げてほしい、もしくは、きいてみたい内容があれば教えて下さい。
- 【8-3】 今後、研究を続けるために本学会に期待する支援にはどのようなものがありますか。

ご清聴ありがとうございました